

自治体における防災栄養の重要性

～東日本大震災津波で確認できたこと～

岩手県釜石保健所

(前大船渡保健所)

菊池 絵美

岩手県大船渡保健所の概要

● 大船渡市・陸前高田市・
住田町の2市1町を管轄



東日本大震災津波の概要

発生日時 : 平成23年 3 月11日 14時46分頃

震源 : 三陸沖 (北緯38.1度、東経142.5度)

規模 : マグニチュード 9.0 (国内観測史上最大)

本県の最大震度 : 6 弱 (大船渡市)

津波 : 3月11日 14時49分 大津波警報発表

大船渡、陸前高田両市が避難指示発令

15時18分 8 m以上の津波を観測



景勝地「高田松原」は
砂浜が海に埋没し
市街地は跡形もなく
流されてしまいました

被害の状況

人的被害

	大船渡市 H31. 3. 31現在	陸前高田市 H31. 3. 31現在	住田町 H24. 7. 4現在	計
死亡者数	422 人	1, 604 人	なし	2, 026 人
行方不明者	79 人	202 人	1 人	282 人

建物被害

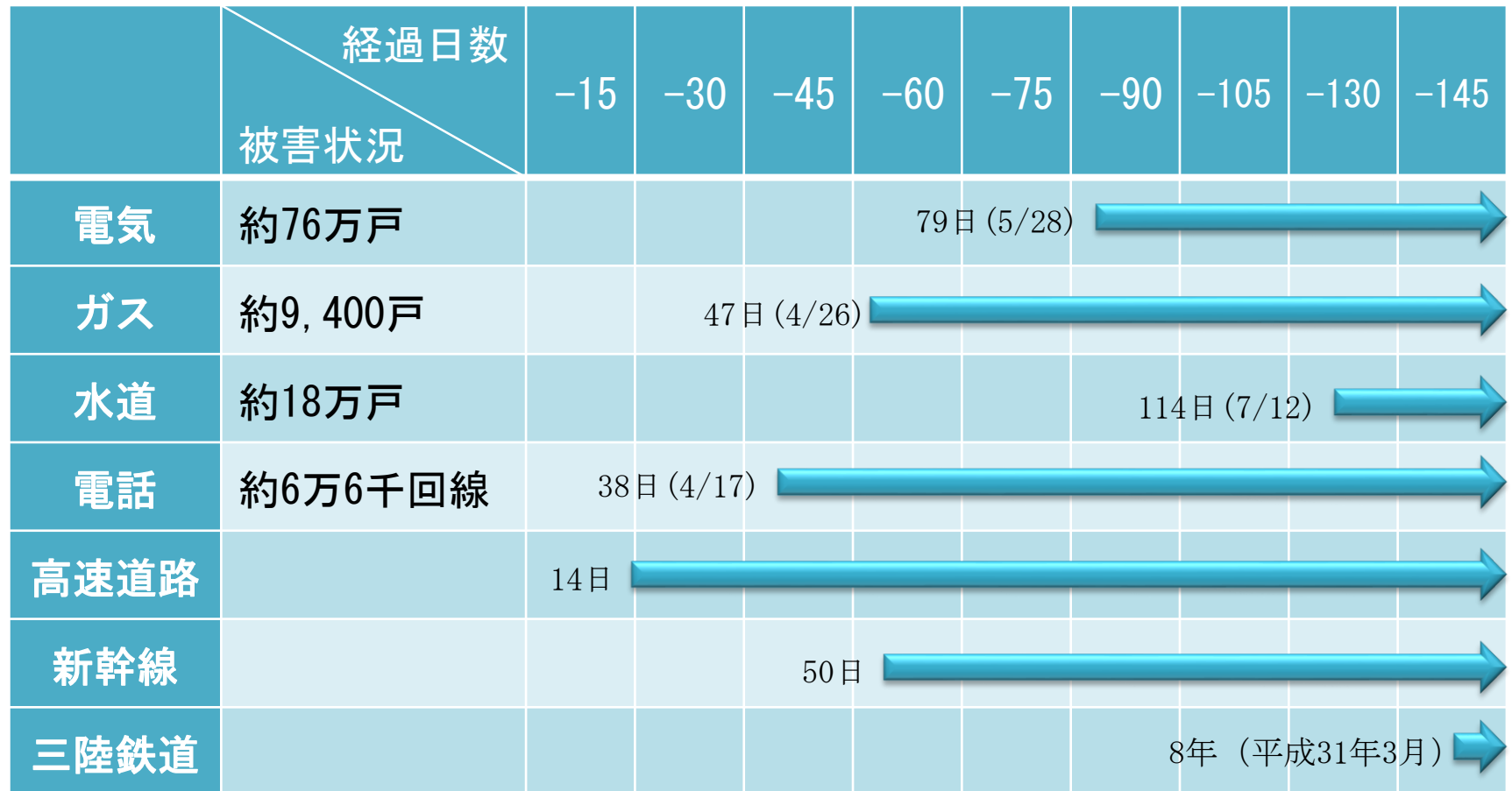
	大船渡市	陸前高田市	住田町	計
全壊	2, 791 戸	3, 805 戸	0 戸	6, 596 戸
大規模半壊	430 戸	114 戸	0 戸	544 戸
半壊	717 戸	122 戸	0 戸	839 戸
一部損壊	1, 648 戸	3, 988 戸	11 戸	5, 647 戸

避難者数等

	大船渡市	陸前高田市	住田町	計
ピーク時避難者数	8, 737 人 (3/15)	9, 773 人 (3/25)	710 人 (4/22)	19, 220 人
ピーク時避難所数	60 カ所 (3/13)	83 カ所 (3/29~4/8)	1 カ所	144 カ所
応急仮設住宅建設戸数	1, 801 戸	2, 148 戸	93 戸	4, 042 戸

ライフラインの復旧状況

岩手県の状況



発災直後の保健所栄養士としての業務

1 大船渡市行政栄養士の状況確認

- **3月14日（発災3日後）**：市災害対策本部で、市行政栄養士3名の生存及び炊き出し業務にあたっていること等を確認した。
- **3月22日（発災11日後）**：炊き出し現場で、直接行政栄養士と対面。炊き出し業務から離れることが難しく、避難者の栄養状態確認に手が回らない現状であることを確認した。

大船渡市への要望

早期に避難者の栄養状態の確認及び改善に行政栄養士が携わる必要性について保健所から働きかけを実施。

2 避難所の状況確認

- 確認日：3月30日（発災19日後）
- 確認避難所：市内の大規模避難所2か所
- 確認者：大船渡保健所栄養士及び岩手県
栄養士会からの協力栄養士

2 避難所の状況確認

- 届けられる物資の偏りにより、栄養状態の大きな偏りが懸念された。
- 災害対策本部からおにぎり等食品が届けられているが、機械的に避難者数×個数で配給するため、食べきれない分に加え定期的に届けられるおにぎりが山積みになっていた。



2 避難所の状況確認

- 避難者の調理負担軽減のため、ボランティアが入った避難所では、日々入れ替わるボランティアへの一からの説明や指示に時間と労力が割かれ、かえって負担が増している状況もみられた。
- 避難所自体の衛生面の懸念、食品保管や取扱等についての衛生管理の不備が確認できた。

大船渡市への要望

早急に行政栄養士が避難者の食生活・栄養支援に専念する必要性について保健所から要望を行った。

大船渡市における避難所の栄養・食生活支援

1 栄養・食生活状況把握のための調査

- 目的：発災1か月後の避難所等における栄養・食生活状況の把握
- 期間：4月8日～13日
- 調査避難所：調査時期に把握されていた避難所のうち、民間宅を除き本調査の聞き取りができた避難所41箇所
- 従事者：大船渡市、大船渡保健所及び奥州保健所栄養士、岩手県栄養士会及び日本栄養士会からの協力栄養士

1 栄養・食生活状況把握のための調査

- 方法：調査従事者が、避難所責任者や調理担当者等から、調査票に基づき避難所の食生活状況について聞き取り実施。
- 分析：エクセル形式で作成したシートに、避難所毎の情報を入力。その内容から、避難所毎の食事の栄養価計算を行い分析した。

1 栄養・食生活状況把握のための調査

● 結果：栄養摂取の状況

栄養のバランスが概ね良好と判断された避難所	3箇所	7.3%
主要栄養素（エネルギー・たんぱく質・脂肪）は概ね良好であるがビタミン・ミネラル等のいくつかが不足と判断された避難所	13箇所	31.7%
ほとんどの栄養素が不足（または過剰）の避難所	25箇所	61.0%
計	41箇所	100%

1 食生活・栄養状況把握のための調査

● 結果：栄養改善のための課題（主なもの4つ）

栄養のバランスが確保できるような物資配給または確保及び提供	16箇所	39.0%
簡単にできるレシピまたは献立表の提供		
主食以外の食事供給体制整備	11箇所	26.8%
物資のみ配給されている方の配給品以外の食事状況の確認	9箇所	22.0%
母数	41箇所	100%

2 課題解決のための取組

サイクルメニューの導入

- サイクルメニュー作成：～5月16日
- 在庫物資確認と食材の発注：5月18日～7月10日
- 各避難所への説明：5月25日～26日
- サイクルメニュー運用サポート：5月29日
～6月27日
- サイクルメニュー実施：5月30日～7月10日
- サイクルメニュー開始後のサポート

2 課題解決のための取組

主食以外の食事体制整備

- 内陸の保健所栄養士がまとめた発注可能な惣菜及び加工済み食品等一覧を大船渡市へ情報提供。
- 調理従事者の疲労がピークに達していた避難所の調理支援のため、岩手県栄養士会及び日本栄養士会からの協力栄養士を現地へ複数回派遣

大船渡市における防災計画への栄養支援の明示

栄養・食支援に関連する主な見直し点

- 被災者の健康の保持増進には、市行政栄養士が初動から関わること
- 炊き出し等は、日頃の調理・衛生業務に精通している学校給食栄養士等を所管している部署が主となること
- 発災直後すぐ食べられる現物備蓄を強化

まとめ

- 大規模災害は必ずくる
自分のこととしてシュミレーションを
- 災害対応は起こってからでは遅い
有事に機能する体制整備を
- 災害対応は日常業務の応用
栄養士としてのスキル向上を